

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	英語 I		
担当者(Instructors)	佐々木 裕美	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

短編やエッセイを原文で読むことによって、英文をじっくり読んで味わうことを目的とします。毎回の授業では、その文章が書かれた時代背景などにも言及しながら、テキストを丁寧に読み進めます。日本語訳が出ている短編を、原文で読む楽しみを、ぜひ体験してみてください。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	毎回の授業では、語られるストーリー（英文で書かれたもの、英語で話されたもの、演じられたものなど、様々な形）を共通の学びの分野としつつ、その内容について自分なりに感じたことを話し合いながら進めています。題材は、学生の英文を読む速度と興味に応じて追加変更することがあります。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	この授業の進め方、目標設定 Ernest Hemingway, "The Killers"	クラスルールの共有と自己紹介 ヘミングウェイの名作「殺し屋」を読む	<input type="checkbox"/>
第2回	"The Killers"	物語の起こる場所	<input type="checkbox"/>
第3回	"The Killers"	ニック・アダムズ	<input type="checkbox"/>
第4回	"The Killers"	置かれた状況について考えながら読み進める	<input type="checkbox"/>
第5回	"The Killers"	登場人物について考えながら読み進める	<input type="checkbox"/>
第6回	"The Killers"	テーマについて考える	<input type="checkbox"/>
第7回	"Changing the World"	名もない僧侶によるショートエッセイ もしも～だったら	<input type="checkbox"/>
第8回	"Where the Angel Kissed Me"	父と息子についてのショートエッセイ so that, so ~ that	<input type="checkbox"/>
第9回	"Where the Angel Kissed Me"	父と息子についてのショートエッセイ so that, so ~ that ...	<input type="checkbox"/>
第10回	"Class Spirit"	ショートエッセイ 小学校のクラスで起きた物語の実話	<input type="checkbox"/>
第11回	"One Person"	「奇跡の人」についての実話	<input type="checkbox"/>
第12回	"One Person"	「奇跡の人」についての実話	<input type="checkbox"/>
第13回	"One Person"	「奇跡の人」についての実話	<input type="checkbox"/>
第14回	Steve Jobs, "2005 Stanford Commencement Address"	スティーブ・ジョブスのスタンフォード大学卒業式の祝辞	<input type="checkbox"/>
第15回	Steve Jobs, "2005 Stanford Commencement Address"	スティーブ・ジョブスのスタンフォード大学卒業式の祝辞	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前には、各回の題材を読んで、わかる範囲でストーリーの内容を理解しておくこと。（30分） 授業後には、再度読み直して内容を確認したり味わったり、わからない単語を調べたりすること。（30分）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業は、履修者の理解のベースに合わせて進めるため、授業中の発言と質問を歓迎する。したがって、フィードバックはその都度行う。授業には、配布するテキスト、辞書、筆記用具を持参すること。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	英語の原文およびスピーチに触れることで、学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	英語の原文およびスピーチに触れて、感じたことをアウトプットする。基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題について的確に判断し、自在に表現、発信することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験(in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的な内容)(Specific contents)

授業内において、英文理解と、内容理解を確認するテストを実施する。

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で指示する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		